

第16回全国高等学校なぎなた選抜大会における 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置

- 選手は必ず、保護者の同意を得ること。別紙、『同意書』を学校長に提出した後、大会参加申込書を全国高体連なぎなた専門部と実行委員会事務局へ、それぞれ送付すること。（『同意書』は学校で保存する。）
- 監督・引率顧問は、全ての会場入場者（選手、監督、引率顧問）に対して、大会2週間前、ならびに当日の体調管理・検温と、自身の行動履歴の記録を徹底して行うよう指示すること。『体調管理表』・『行動履歴書』は、参考様式にならない、各校の書式を活用しても構わない。会場入場者の健康を確認するため、別紙の『体調管理集約シート』を記入の上、監督・引率顧問が責任を持って、大会当日に受付へ提出する。
- 大会参加への参加制限

下記の項目に当てはまる場合、選手、監督・引率顧問の大会への参加を制限する。

参加が制限される状況	参加を制限する期間
① 選手、監督・引率顧問が新型コロナウイルス感染症に感染した場合	治癒するまで
② 選手、監督・引率顧問に発熱などの風邪症状がある場合	症状が改善されるまで
③ 選手、監督・引率顧問が濃厚接触者に特定された場合	自宅待機を要請されている期間
④ 選手、監督・引率顧問がPCR検査を受診した場合	陰性が確認されるまで
⑤ 選手、監督・引率顧問の同居者が濃厚接触者に特定された場合やPCR検査を受診した場合	同居者の陰性が確認されるまで

- 選手、監督・引率顧問は、マスク等を準備すること。大会中は、常にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底する。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- タオルの共用はしないこと。（マイタオルの持参）
- 給水するためのコップ等は共用しないこと。（マイボトルの持参、紙コップの使用）
- 更衣室内の3密防止として、大会競技委員の指示に従う。また、自宅や宿舎等から直接会場に来場する選手は、あらかじめ稽古着・袴を着用してくること。
- 試合時は、シールドを装着した面及び、マスク等の口を覆うものを着用すること。
- 他の参加者や大会スタッフなど、人と人との触れ合わない距離（1m）を確保すること。
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 昼食などの飲食時については、指定の場所以外では行わず、対面をさけ、できるだけ間隔を取るようにして、会話はひかえて速やかに済ませること。
- 大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（事務局）に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

直前の感染状況等を考慮して、大会自体の中止、または詳細が変更になる可能性も有ります。ご理解ください。